

# 新型コロナ対策—テレワークを考えよう



新型コロナの影響で、テレワークに切り替える企業が急増中。まだ導入していない企業も、コロナ長期化に備え自社のテレワーク導入について考えておきましょう。

## ●テレワーク導入で生産性向上

### ◆テレワーク導入のメリット

テレワークとは、在宅勤務などICT（情報通信技術）の利用で、場所と時間に制限されない働き方の総称。

今は新型コロナ対策として利用されていますが、本来は、出勤時間や残業の削減による生産性向上、介護等で制約ある人材活用での人材確保などが狙いです。

### ◆うちの会社でテレワークができるの？

飲食業、製造現場などテレワークに向かない業務はありますが、総務、経理、営業、開発などの多くの業務で環境さえ整えばテレワークの余地はあります。

緊急対策として、非常時でも停滞させたくない業務をピックアップし、テレワークで対応できるようにしておくのもひとつかも。



## 一般的なテレワーク導入の進め方

### ◆現状把握

テレワーク導入目的を明確化した上で、業務内容、就業規則、人事評価制度、社内のIT環境等の現状を把握

### ◆社内ルール作り

どの業務にテレワークを導入するか範囲を決め、勤怠管理方法を決め、必要な社内規定を整備

### ◆ICT（情報通信技術）環境の整備

必要なICT機器の購入、在宅勤務時の勤怠管理体制の整備、チャット、WEB会議システムなどのコミュニケーション体制の整備

### ◆セキュリティ対策の実施

端末管理の徹底、紛失リスクやデータ流出に備える管理体制、社外からの不正アクセス対策（ファイアウォール等）

## ●テレワークで活躍するICT環境

テレワークでは、業務に必要なシステムが利用でき、情報が入手できる体制が不可欠です。

### ★リモートデスクトップ

遠隔で社内PCを操作する仕組み。社内PCからサーバへアクセスしたり、社内PCのシステムを利用できます。

### ★クラウド型アプリケーション

インターネット回線で、どこからでも利用可能。スケジュール管理や報告書の申請承認ができるグループウェア、会計ソフト、販売管理ソフトなど、分野も様々。

### ★コミュニケーションツール

顔を合わせずに仕事をするため、チャットや社内SNSなど、コミュニケーション活性化ツールの利用が必要に。

### ★在宅時のネット回線

テレワーク急増でネット回線の混雑も指摘されています。業務効率を下げないためには、社員宅のインターネット回線の速度やセキュリティも重要なポイントになりそうです。



## テレワーク関連助成金・補助金

### ◆テレワークコース助成金



5月末までにテレワークを新規導入（テスト導入含む）する中小企業が対象。

在宅勤務のための通信機器、クラウドサービス等が対象でPC、タブレット購入費用は対象外。就業規則の変更に係る社労士への委託費用等も対象になるのが特徴。助成金は1社当たり100万円まででコストの1/2相当。

### ◆東京都の事業継続緊急対策テレワーク助成金

6月末までにテレワークを導入する、都内の、2020TDM推進プロジェクト参加の中小企業（999人以下）が対象。助成金は、税込10万円未満のPC、機器の設置費用、クラウドサービス利用料などが対象で、負担したコスト全額（250万円上限）



### ◆IT導入補助金（参考）

新型コロナ対策として緊急でIT導入補助金が公募（3月末で終了）。テレワーク導入時のソフトウェア費等の1/2が補助対象。今後別タイプ（150万円以上450万円未満補助）の公募が見込まれるのでHPをチェックしておきたい。

## ●WEB会議、今なら無料体験も…

PCとネット回線さえあれば利用できる“WEB会議システム”は次のメリットがあります。

- ・外出不要、移動時間も交通費を削減できる
- ・会議資料の配布が簡単で、印刷不要
- ・テレビ会議システムより低いコスト負担
- ・業務効率化と素早い意思決定につながる

WEB会議システムは、パソコンを画面に表示しながらの営業、システムのデモンストレーション、応募者との人事面談、など幅広く活用されています。

新型コロナ対策支援で期間限定の無償提供キャンペーン実施中のメーカーもたくさんあります。比較検討するには絶好の機会かも。



## 外出禁止でも困らないためのヒント！

**書類1枚で借り入れ！**：契約者貸付なら電話で書類を取り寄せ保険会社へ書類を出すだけで資金調達可能。

**毎月10日の納税手続き不要に**：電子納税なら源泉税も住民税も口座引落、銀行へ出向く必要はなしに。

**銀行通いをなくすには**：ネットバンクなら、24時間どこでも送金可能。窓口送金や通帳印字も不要に。

**ネット完結で資金調達？！**：三菱UFJ銀行では既存客向けにオンラインで融資申込から審査まで完結、最短2日で最大1千万円という話題の融資商品を提供中！